

抗がん薬名	投与量	投与方法	投与日			
レジメン名 [時間短縮]CLL リツキサン_C2-6			投与間隔	28	催吐リスク	最小度
リツキシマブ	500mg/m2	点滴静注	day1			
備考 ベネトクラクス(内服)と併用可能。						
レジメン名 [時間短縮]Pola+RB (2コース目以降)			投与間隔	21	催吐リスク	中等度
ポラツズマブベドチン	1.8mg/kg	点滴静注	day1			
リツキシマブ	375mg/m2	点滴静注	day1			
ベンダムスチン	90mg/m2	点滴静注	day1,2			
備考 ポライビーは最大投与回数6回。day1,2は前投薬としてブルフェン2T内服。						
レジメン名 [時間短縮]R-CHOP			投与間隔	21	催吐リスク	高度
リツキシマブ	375mg/m2	点滴静注	day1			
ドキソルビシン	50mg/m2	点滴静注	day1			
ビンクリスチン	1.4mg/m2	点滴静注	day1			
シクロホスファミド	750mg/m2	点滴静注	day1			
備考 プレドニゾロン 100mgはDay1は静注、Day2-5は内服。VCRの最高用量は2mg/body。						
レジメン名 [時間短縮]R-CHOP(イメンド)			投与間隔	21	催吐リスク	高度
リツキシマブ	375mg/m2	点滴静注	day1			
ドキソルビシン	50mg/m2	静注	day1			
ビンクリスチン	1.4mg/m2	静注	day1			
シクロホスファミド	750mg/m2	点滴静注	day1			
備考 プレドニゾロン 100mgはDay1は静注、Day2-5は内服。VCRの最高用量は2mg/body。 Day1：イメンド125mg、Day2-3：イメンド80mg。						

抗がん薬名	投与量	投与方法	投与日			
レジメン名 [時間短縮]R-CVP			投与間隔	21	催吐リスク	中等度
リツキシマブ	375mg/m2	点滴静注	day1			
ビンクリスチン	1.4mg/m2	静注	day1			
シクロホスファミド	750mg/m2	点滴静注	day1			
備考 プレドニゾロン 100mgはDay1は静注、Day2-5は内服。VCRの最高用量は2mg/body。						
レジメン名 [時間短縮]R-THP-COP			投与間隔	21	催吐リスク	高度
リツキシマブ	375mg/m2	点滴静注	day1			
ピラルビシン	40mg/m2	静注	day1			
ビンクリスチン	1.4mg/m2	静注	day1			
シクロホスファミド	750mg/m2	点滴静注	day1			
備考 プレドニゾロン 100mgはDay1は静注、Day2-5は内服。VCRの最高用量は2mg/body。						
レジメン名 [時間短縮]R-THP-COP(イメンド)			投与間隔	21	催吐リスク	高度
リツキシマブ	375mg/m2	点滴静注	day1			
ピラルビシン	40mg/m2	静注	day1			
ビンクリスチン	1.4mg/m2	静注	day1			
シクロホスファミド	750mg/m2	点滴静注	day1			
備考 プレドニゾロン 100mgはDay1は静注、Day2-5は内服。VCRの最高用量は2mg/body。 Day1: イメンド125mg、Day2-3: イメンド80mg。						
レジメン名 [時間短縮]リツキシマブ			投与間隔	7	催吐リスク	最小度
リツキシマブ	375mg/m2	点滴静注	day1			
備考						

免責事項: 本レジメン一覧は、医療従事者を対象にしたものであり、一般の方向けではありません。また本レジメン一覧を参考にレジメンを作成しないでください。当院では一切の責任を負いません

抗がん薬名	投与量	投与方法	投与日			
レジメン名 [時間短縮]リツキシマブ/トレアキシン(FL)			投与間隔	28	催吐リスク	中等度
リツキシマブ	375mg/m2	点滴静注	day1			
ベンダムスチン	90mg/m2	点滴静注	day1,2			
備考						
レジメン名 [入院専用]CLL リツキサン_C1			投与間隔	28	催吐リスク	最小度
リツキシマブ	375mg/m2	点滴静注	day1			
備考	ベネトクラクス(内服)と併用可能。					
レジメン名 [入院専用]リツキシマブ/トレアキシン(DLBCL)			投与間隔	21	催吐リスク	中等度
リツキシマブ	375mg/m2	点滴静注	day1			
ベンダムスチン	120mg/m2	点滴静注	day1,2			
備考						
レジメン名 [入院専用]リツキシマブ/トレアキシン(FL)			投与間隔	28	催吐リスク	中等度
リツキシマブ	375mg/m2	点滴静注	day1			
ベンダムスチン	90mg/m2	点滴静注	day1,2			
備考						
レジメン名 A-CHP			投与間隔	21	催吐リスク	高度
ドキシソルビシン	50mg/m2	静注	day1			
シクロホスファミド	750mg/m2	点滴静注	day1			
ブレンツキシマブ ベドチン	1.8mg/kg	点滴静注	day1			
備考	最大8コース。プレドニゾロン 100mgはDay1は静注、Day2-5は内服。					

免責事項:本レジメン一覧は、医療従事者を対象にしたものであり、一般の方向けではありません。また本レジメン一覧を参考にレジメンを作成しないでください。当院では一切の責任を負いません

抗がん薬名		投与量	投与方法	投与日			
レジメン名	CHOP			投与間隔	21	催吐リスク	高度
	ドキシソルビシン	50mg/m2	静注	day1			
	ビンクリスチン	1.4mg/m2	静注	day1			
	シクロホスファミド	750mg/m2	点滴静注	day1			
備考 プレドニゾロン 100mgはDay1は静注、Day2-5は内服。VCRの最高用量は2mg/body。							
レジメン名	CHOP(イメンド)			投与間隔	21	催吐リスク	高度
	ドキシソルビシン	50mg/m2	静注	day1			
	ビンクリスチン	1.4mg/m2	静注	day1			
	シクロホスファミド	750mg/m2	点滴静注	day1			
備考 プレドニゾロン 100mgはDay1は静注、Day2-5は内服。VCRの最高用量は2mg/body。 Day1: イメンド125mg、Day2-3: イメンド80mg。							
レジメン名	GA単独_維持療法			投与間隔	56	催吐リスク	最小度
	オビヌツズマブ	1000mg/body	点滴静注	day1			
備考 維持療法: 2カ月に1回、最長2年間。							
レジメン名	G-CHOP_サイクル2以降			投与間隔	21	催吐リスク	高度
	オビヌツズマブ	1000mg/body	点滴静注	day1			
	ビンクリスチン	1.4mg/m2	点滴静注	day1			
	ドキシソルビシン	50mg/m2	点滴静注	day1			
	シクロホスファミド	750mg/m2	点滴静注	day1			
備考 プレドニゾロン 100mgはDay1は静注、Day2-5は内服。VCRの最高用量は2mg/body。							

免責事項: 本レジメン一覧は、医療従事者を対象にしたものであり、一般の方向けではありません。また本レジメン一覧を参考にレジメンを作成しないでください。当院では一切の責任を負いません

抗がん薬名		投与量	投与方法	投与日			
レジメン名	G-トレアキシン_サイクル1			投与間隔	28	催吐リスク	中等度
	オビヌツズマブ	1000mg/body	点滴静注	day1,8,15			
	ベンダムスチン	90mg/m2	点滴静注	day2,3			
備考							
レジメン名	G-トレアキシン_サイクル2以降			投与間隔	28	催吐リスク	中等度
	オビヌツズマブ	1000mg/body	点滴静注	day1			
	ベンダムスチン	90mg/m2	点滴静注	day1,2			
備考							
レジメン名	Pola-R-CHP(入外共用)			投与間隔	21	催吐リスク	高度
	リツキシマブ	375mg/m2	点滴静注	day1			
	ポラツズマブベドチン	1.8mg/kg	点滴静注	day1			
	ドキシソルビシン	50mg/m2	点滴静注	day1			
	シクロホスファミド	750mg/m2	点滴静注	day1			
備考 ポラツズマブベドチンは最大投与回数6回。前投薬としてブルフェン2T内服。プレドニゾロン100mgは、day1は静脈内投与、day2-5は経口投与可能。							
レジメン名	R2_サイクル1			投与間隔	28	催吐リスク	最小度
	リツキシマブ	375mg/m2	点滴静注	day1,8,15,22			
	レナリドミド	20mg/body	経口	day1-21			
備考 2-5コース用のレジメン。Day1はブルフェン2T内服。リツキシマブはサイクル5まで、レナリドミドは最大サイクル12まで。							
レジメン名	R2_サイクル2-5			投与間隔	28	催吐リスク	最小度
	リツキシマブ	375mg/m2	点滴静注	day1			
	レナリドミド	20mg/body	経口	day1-21			
備考 2-5コース用のレジメン。Day1はブルフェン2T内服。リツキシマブはサイクル5まで、レナリドミドは最大サイクル12まで。							

免責事項: 本レジメン一覧は、医療従事者を対象にしたものであり、一般の方向けではありません。また本レジメン一覧を参考にレジメンを作成しないでください。当院では一切の責任を負いません

抗がん薬名	投与量	投与方法	投与日			
レジメン名 THP-COP			投与間隔	21	催吐リスク	高度
ピラルビシン	40mg/m2	静注	day1			
ビンクリスチン	1.4mg/m2	静注	day1			
シクロホスファミド	750mg/m2	点滴静注	day1			
備考 プレドニゾロン 100mgはDay1は静注、Day2-5は内服。VCRの最高用量は2mg/body。						
レジメン名 THP-COP(イメンド)			投与間隔	21	催吐リスク	高度
ピラルビシン	40mg/m2	静注	day1			
ビンクリスチン	1.4mg/m2	静注	day1			
シクロホスファミド	750mg/m2	点滴静注	day1			
備考 プレドニゾロン 100mgはDay1は静注、Day2-5は内服。VCRの最高用量は2mg/body。 Day1: イメンド125mg、Day2-3: イメンド80mg。						
レジメン名 イストダックス単剤			投与間隔	28	催吐リスク	軽度
ロミデプシン	14mg/m2	点滴静注	day1,8,15			
備考 成熟T/NK細胞リンパ腫。						
レジメン名 エプキンリ単剤療法(DLBCL)_G1			投与間隔	28	催吐リスク	最小度
エプコリタマブ	0.16mg/body	皮下注射	day1			
エプコリタマブ	0.8mg/body	皮下注射	day8			
エプコリタマブ	48mg/body	皮下注射	day15,22			
備考 Epcoritamab投与の30分～2時間前に以下の前投薬を投与すること。 ・プレドニゾロン100mg(i.v. or p.o.):day1-4, 8-11, 15-18, 22-25 ・ジフェンヒドラミン50mg(p.o.)+アセトアミノフェン800mg(p.o.):day1,8,15,22						

免責事項: 本レジメン一覧は、医療従事者を対象にしたものであり、一般の方向けではありません。また本レジメン一覧を参考にレジメンを作成しないでください。当院では一切の責任を負いません

抗がん薬名	投与量	投与方法	投与日			
レジメン名 エプキンリ単剤療法(DLBCL)_C2-3			投与間隔	28	催吐リスク	最小度
エプコリタマブ	48mg/body	皮下注射	day1,8,15,22			
備考 Epcoritamab投与の30分～2時間前に以下の前投薬を投与すること。 ・プレドニゾロン100mg(i.v. or p.o.):day1-4, 8-11, 15-18, 22-25 ・ジフェンヒドラミン50mg(p.o.)+アセトアミノフェン800mg(p.o.):day1,8,15,22						
レジメン名 エプキンリ単剤療法(DLBCL)_C4-9			投与間隔	28	催吐リスク	最小度
エプコリタマブ	48mg/body	皮下注射	day1,15			
備考 Epcoritamab投与の30分～2時間前に必要に応じて以下の前投薬を投与すること。 ・(以前の投与でGrade2以上のCRS出現があった場合)プレドニゾロン100mg(i.v. or p.o.):day1-4, 15-18 ・(任意で)ジフェンヒドラミン50mg(p.o.)+アセトアミノフェン800mg(p.o.):day1,15						
レジメン名 エプキンリ単剤療法(DLBCL)_C10以降			投与間隔	28	催吐リスク	最小度
エプコリタマブ	48mg/body	皮下注射	day1			
備考 Epcoritamab投与の30分～2時間前に必要に応じて以下の前投薬を投与すること。 ・プレドニゾロン100mg(i.v. or p.o.):day1-4 ・(任意で)ジフェンヒドラミン50mg(p.o.)+アセトアミノフェン800mg(p.o.):day1						
レジメン名 エプキンリ単剤療法(FL)_C1			投与間隔	28	催吐リスク	最小度
エプコリタマブ	0.16mg/body	皮下注射	day1			
エプコリタマブ	0.8mg/body	皮下注射	day8			
エプコリタマブ	3mg/body	皮下注射	day15			
エプコリタマブ	48mg/body	皮下注射	day22			
備考 Epcoritamab投与の30分～2時間前に以下の前投薬を投与すること。 ・プレドニゾロン100mg(i.v. or p.o.):day1-4, 8-11, 15-18, 22-25 ・ジフェンヒドラミン50mg(p.o.)+アセトアミノフェン800mg(p.o.):day1,8,15,22						

免責事項:本レジメン一覧は、医療従事者を対象にしたものであり、一般の方向けではありません。また本レジメン一覧を参考にレジメンを作成しないでください。当院では一切の責任を負いません

抗がん薬名	投与量	投与方法	投与日			
レジメン名 エプキンリ単剤療法(FL)_C2-3			投与間隔	28	催吐リスク	最小度
エプコリタマブ	48mg/body	皮下注射	day1,8,15,22			
備考 Epcoritamab投与の30分～2時間前に必要に応じて以下の前投薬を投与すること。 ・(以前の投与でGrade2以上のCRS出現があった場合)プレドニゾロン100mg(i.v. or p.o.):day1-4, 8-11, 15-18, 22-25 ・(任意で)ジフェンヒドラミン50mg(p.o.)+アセトアミノフェン800mg(p.o.):day1,8,15,22						
レジメン名 エプキンリ単剤療法(FL)_C4-9			投与間隔	28	催吐リスク	最小度
エプコリタマブ	48mg/body	皮下注射	day1,15			
備考 Epcoritamab投与の30分～2時間前に必要に応じて以下の前投薬を投与すること。 ・(以前の投与でGrade2以上のCRS出現があった場合)プレドニゾロン100mg(i.v. or p.o.):day1-4, 15-18 ・(任意で)ジフェンヒドラミン50mg(p.o.)+アセトアミノフェン800mg(p.o.):day1,15						
レジメン名 エプキンリ単剤療法(FL)_C10以降			投与間隔	28	催吐リスク	最小度
エプコリタマブ	48mg/body	皮下注射	day1			
備考 Epcoritamab投与の30分～2時間前に必要に応じて以下の前投薬を投与すること。 ・(以前の投与でGrade2以上のCRS出現があった場合)プレドニゾロン100mg(i.v. or p.o.):day1-4 ・(任意で)ジフェンヒドラミン50mg(p.o.)+アセトアミノフェン800mg(p.o.):day1						
レジメン名 ルンスミオ単剤療法_C1			投与間隔	21	催吐リスク	最小度
モスネツズマブ	1mg/body	点滴静注	day1			
モスネツズマブ	2mg/body	点滴静注	day8			
モスネツズマブ	60mg/body	点滴静注	day15			
備考 ・モスネツズマブ投与1時間前にカロナール800mg、レスタミンコーワ50mg内服。 ・本剤投与の1-2日前から約2-3L/日に水分摂取を開始することが推奨される。 ・本剤の投与終了後、少なくとも24時間は150-200mL/時の投与速度での静脈内補液を行う。						

免責事項:本レジメン一覧は、医療従事者を対象にしたものであり、一般の方向けではありません。また本レジメン一覧を参考にレジメンを作成しないでください。当院では一切の責任を負いません

抗がん薬名		投与量	投与方法	投与日			
レジメン名	ルンスミオ単剤療法_C2			投与間隔	21	催吐リスク	最小度
	モスネツズマブ	60mg/body	点滴静注	day1			
備考	・必要に応じて、モスネツズマブ投与1時間前にカロナール800mg、レスタミンコーワ50mg内服。 ・1サイクル目の忍容性が良好だった場合、2サイクル目以降のモスネツズマブの投与は2時間に短縮可能。						
レジメン名	ルンスミオ単剤療法_C3以降			投与間隔	21	催吐リスク	最小度
	モスネツズマブ	30mg/body	点滴静注	day1			
備考	・必要に応じて、モスネツズマブ投与1時間前にカロナール800mg、レスタミンコーワ50mg内服。 ・C8終了後にCRの場合、投与終了。 ・C8終了後にPR～SDの場合、計17サイクルまで投与継続。						